



環境経営レポート

対象期間：2024年5月～2025年4月
発行：2025年5月20日

多摩中央葬祭株式会社



目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の達成状況	6
7. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	7
8. 実施体制図	8
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	9
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
11. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果	11
持続可能な開発目標（SDGs）の取組み	12～

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名
多摩中央葬祭株式会社
代表取締役 森山 泰文

(2) 所在地
森の風ホール立川（本 社）：東京都立川市錦町4-8-3
森の風ホール国立：東京都国立市青柳3-18-11
森の風ホール府中（府中支店）：東京都府中市紅葉ヶ丘1-28-5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 葬祭部：長橋 拓也
TEL：042-525-1230
FAX：042-525-0434
Eメール：tamachu@osogi.jp
URL：<https://www.osogi.jp/>

(4) 事業内容
当社は、多摩地域で業務展開している専門葬祭社です。
森の風ホール立川・森の風ホール府中・森の風ホール国立を展開し、
家族葬やご安置施設の需要に対応することで、お客様にご利用いただ
いています。
お客様に満足いただける、プラン・サービスをご案内・提供できるよう
自利利他を心がけております。

(5) 事業の規模
売上高：3.7億円／2024年度

	本社	府中支店	森の風ホール国立	合計
従業員数	12名	1名	1名	13人
延床面積	208㎡	297㎡	241㎡	746㎡

(6) 会社保有資格
一般貨物自動車運送事業経営許可(関自貨2第3249号)
フローラル共済販売代理店
全葬連葬祭サービスガイドライン遵守事業所(認定第2336号)
健康経営優良法人2022（中小規模法人規模）
健康優良企業（協銀第342号）

(7) 有資格者

1級葬祭ディレクター	5名
全葬連葬儀事前相談員	5名
遺体感染管理士2種	2名
シルバーライフカウンセラー	2名
ライフカウンセラー	3名

2. 対象範囲

対象事業所：全社・全活動・全従業員を対象としています

森の風ホール立川（本 社）

森の風ホール国立

森の風ホール府中（府中支店）



3. 環境経営方針

環境経営方針

<基本理念>

当社は働きやすい環境を構築しつつ葬祭サービスの提供をすることで、お客様のニーズに応え、サービス力の向上と資源の有効活用を行い、当社と関わるすべての人たちの「成長と幸福」を追求し環境保全に配慮した継続的な事業活動と健康経営による社員一人ひとりが健康保持・増進できるよう取り組みます。

<行動指針>

1. 二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に努めます。
2. 省資源で仕事を進めるように努め、廃棄物の発生量を低減します。
3. 節水を進め、排水量を低減します。
4. ドライアイスの使用量の適正化に努めます。
5. 葬祭サービスの中で、環境に配慮し、物質使用量を削減に努めます。
6. 環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、環境コミュニケーションを通じて公表します。
7. 健康経営により、心とからだの健康に興味を持ち健康保持・増進に努めます。
8. 社内の要所に環境方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

2020年5月1日 改正

2014年9月30日

多摩中央葬祭株式会社

代表取締役 森山 泰文



4.環境経営目標

項目 施行件数	基準	中期目標			
	2023年度 基準年度	2025年度	2026年度	2027年度	
1. 二酸化炭素排出量削減	対基準 削減比	0.7%	1.0%	1.1%	
・電気 (kwh)	58,043	57,636	57,462	57,404	
・ガソリン (ℓ)	11,421.30	各車カタログ燃費の70%			
・都市ガス (Nm ³)	166	164	163	162	
※CO2合計 (kg-CO2)	52,849	52,479	52,320	52,847	
2. 一般廃棄物排出量削減 (kg) (コピー用紙・ダンボール)	対基準 削減比	0.7%	1.0%	1.1%	
	2,748	2,728	2,720	2,717	
3. 水使用量削減 (m ³)	304	301	300	299	
4. 化学物質の適正管理 (kg) (ドライアイス)	対基準 削減比	0.7%	1.0%	1.1%	
	12,320	12,233	12,196	12,184	
5. 資源使用量適正管理 (kg)	対基準 削減比	0.7%	1.0%	1.1%	
	162	160	160	160	

※電気のCO2排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)の
2020年度実績の調整後排出係数：0.441(kg-CO2/kWh)を使用している

5. 環境経営計画

環境経営計画

二酸化炭素排出量削減

(電気)

- ① 不要時・不要箇所の消灯
- ② エアコン暖房室温20℃冷房温度28℃
- ③ クールビズ・ウォームビズ運動
- ④ パソコン省エネ設定

二酸化炭素排出量削減

(ガソリン)

- ① エコドライブの徹底
- ② 空気圧、月一チェック
- ③ 燃費管理

(灯油)

- ① こまめな消火の徹底

(都市ガス)

- ① 給湯器の必要最小限使用の徹底

一般廃棄物排出量削減

(コピー用紙)

- ① 両面コピーの推進
- ② 紙類を分別し、資源化

(ダンボール)

- ① 廃ダンボールの再利用
- ② リサイクル業者に委託

水使用量の削減

- ① 節水シールにより呼びかけ

化学物質適正管理

- ① ドライアイスの使用量抑制
- ② セレモアイスの併用利用
- ③ 保冷施設の有効活用

グリーン購入

- ① エコ商品の積極的な購入・販売

資源使用料適正管理

- ① ローソクの使用料の管理・把握

6. 環境経営目標の達成状況

	2023年度 基準年度	2024年度(2024年5月～2025年4月)			
		削減比率	目 標	実 績	評 価
1. 二酸化炭素排出量削減					
・電気 (kwh)	58,043	0.5%	57,752	63,164	×
・ガソリン (ℓ)	11,421	-	カタログ値の70% 全車両の7割	13/19台 達成	◎
・都市ガス (Nm ³)	166	0.5%	165	131	◎
※CO ₂ 合計 (kg-CO ₂)	62,768	0.5%	62,454	53,333	×
2. 一般廃棄物排出量削減 (kg) (コピー用紙・ダンボール)	2,748	0.5%	2,734	2,600	◎
3. 水使用量削減 (m ³)	304	0.5%	302	286	◎
4. 化学物質の適正管理 (kg) (ドライアイス)	12,320	0.5%	12,233	11,960	◎
5. 資源使用量適正管理 (kg) (ローソク)	149	0.5%	149	128	◎
6. 資源使用量適正管理 (ℓ) (エタノール)	11.2			0	◎

○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

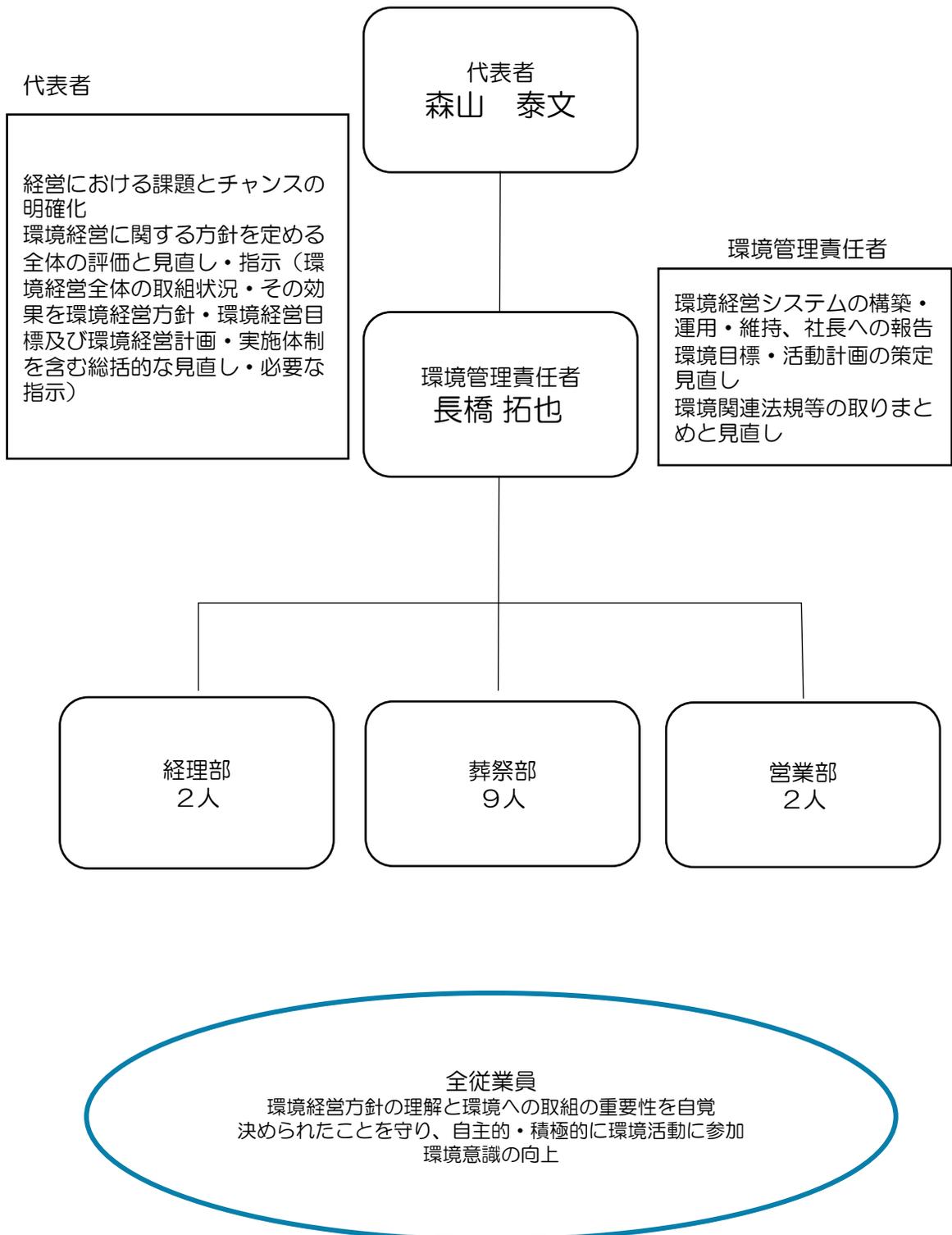
- ・基準年度は、2019年5月～2020年4月
- ・電気のCO₂排出係数：基準年度は東京電力エナジーパートナー(株) 2019年の実排出係数：0.468(kg-CO₂/kWh)を使用し、2020年以降は2020年度実績の調整後排出係数：0.441(kg-CO₂/kWh)を使用している。

7. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 (電気) ① 不要時・不要箇所の消灯 ② エアコン暖房室温20℃冷房28℃ ③ クールビズ・ウォームビズ運動 ④ パソコン省エネ設定 ⑤ 電気動力の管理	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量については、立川で1890kwh増、府中では増減なし・国立3238kwhの増 全体の施行件数は減少しているが、立川・国立は電気使用量増となった。 保冷室、エアコンの効率的な利用が必要である。 立川については年間を通しての増、国立は7月～9月電気動力が顕著に増加している。 2025年度の結果次第では早急に対策が必要になる。 クールビズとしてポロシャツの制服支給 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員一同の電力消費を意識した行動を促す。 動力の管理 保冷庫・エアコンの管理 エアコンフィルターのこまめな清掃
二酸化炭素排出量削減 (ガソリン) ① エコドライブの徹底 ② 空気圧、月一チェック ③ 燃費管理 (都市ガス) ① 給湯器の必要最小限使用の徹底	(ガソリン) <ul style="list-style-type: none"> 搬送車は1回あたりの運行距離が短く目標を達成できなかったが、その他の車両は概ね達成できた。 計画的な運行、運転時間の短縮。 タイヤ空気圧は、100%実施できた。 車両毎に記録した。 燃費の管理も記録書に記入した。 (都市ガス) <ul style="list-style-type: none"> 最小限の使用に抑えられた。 立川は36㎡減・国立は1㎡減となった 	<ul style="list-style-type: none"> 空気圧管理とエコドライブを重点的に継続して実施。(寝台車のアイドリングなど)の削減を図る。 利用者、業者への使用量削減の案内を行う。
一般廃棄物排出量削減 (コピー用紙) ① 両面コピーの推進 ② 紙類を分別し、資源化(ダンボール) ① 廃ダンボールの再利用 ② 自治会のリサイクル業者に委託	<ul style="list-style-type: none"> 両面コピーはEA21取組み前から実施。 紙・缶の分別の実施。 リサイクル業者に委託。 可燃ごみの更なる分別。 ビニール類は27kgの増。 棺変更により段ボールは減となったが、発泡スチロールの増加となった。 	<p>継続して実施</p>
水使用量の削減 ① 節水シールにより呼びかけ ② 高圧洗浄による洗車	<ul style="list-style-type: none"> 立川21㎡減・国立11㎡増・府中8㎡減となっている施行件数・参列人数の減少により洗車回数の減少・トイレの回数減少が考えられる。 	<p>継続して実施</p>
化学物質適正管理 ① ドライアイスの使用量抑制 ② セレモアイスの併用利用 ③ 保冷施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ドライアイスの管理・把握面の強化。 セレモアイスの管理・把握 府中・国立の保冷庫の有効利用 ドライアイスの使用量は360kg減となったが施行件数、安置状況を鑑みる必要あり 	<ul style="list-style-type: none"> ドライアイスの使用について意識的に管理を行う 安置室の選定を適切に行う。
資源使用量適正管理 ① ローソクの使用量の管理・把握	<ul style="list-style-type: none"> 全式場を液体ローソクに変えかなりの無駄を省き経済的に高効果であった。 	<p>継続して実施</p>

8. 実施体制図

実施体制図



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認

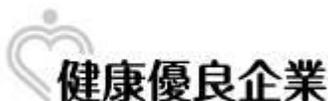
- ・ 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される車両・運送関係等の環境関連法案は、法規及び条例に基づき適切に対応しており、違反はありません。他、全日本葬祭業協同組合連合会のガイドラインを遵守し、関連機関からの指摘や訴訟、苦情に関しても過去5年間ありません。

番号	法律などの名称	該当する要求事項	確認
1	自動車リサイクル法	使用済み自動車のリサイクル義務	○
2	廃棄物処理法	一般廃棄物の処理計画の順守	○
3	道路交通法	免許証の携帯と有効期限、交通事故時の措置違反 過労運転の禁止、速度厳守、安全運転管理者の業務	○
4	自動車Nox、PM法	Nox、PMの排出規制（車種ごとの基準）	○
5	立川市斎場条例	斎場使用等に伴う義務	○
6	東京都火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱い	○



第2336号



協銀第342号



中小規模法人部門

《 壁面緑化 》

東京都都市緑化基金の
助成を受けています



10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役 森山 泰文

作成日：2025年5月1日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規等の遵守状況は2025年5月1日に確認した結果遵守されている。 ・予防措置の状況 	<p>条例に違反、交通違反などなく良かったと思う。引き続き実践していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、緊張感を持って運転や違反に注意してください。また、全車両にドライブレコーダーを装着しました。 ・疲れ、豪雨の際は運転を中止してください。
<p>〔目標・環境活動計画の達成状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力の削減 × ・都市ガスの削減 ○ ・一般廃棄物排出量削減 ○ ・コピー用紙の裏紙使用 ○ ・ガソリンの削減 ○ ・ローソクの在庫品の管理 ○ ・ローソクの使用削減 ○ ・ドライアイスの削減 ○ ・節水 ○ 	<p>〔目標・環境活動計画の達成状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の増はあったが全体的に目標達成ができた事は良かったと思います。 ・施行件数減少により全体的の量は減少しましたが、引き続き節約、特に節電を意識してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の増加が目立ちます。昨今、猛暑日も多いので熱中症対策もしながら節電を徹底してください。 ・一人一人の意識が温室効果ガスの削減また、社会的にも成長できるはずです。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の実施を徹底するために全社員を対象とした教育研修を毎月の研修に取り入れた。 ・コミュニケーション簿を有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の実施徹底するために全社員を対象とした教育研修を毎月の研修に取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、研修に環境教育を組み込んでエコの実施を意識してください。

総合コメント

基準年度に基づく目標は一部達成できませんでした。電力量が増えていますので、節電を徹底してください。

『エコアクション21』の運用も11年を経し、継続的に無駄の意識をして環境活動意識を常に浸透させ、ひとり一人の取組の結果が数字に表れることを認識させて、目標達成に向けて取り組んでいきたい。

1 1. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

代表取締役 森山 泰文

外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

1 対象期間：2024年5月1日～2025年4月30日

2 外部コミュニケーション（受付状況）

- (1) 365日24時間体制での電話受付
- (2) 地域活動への参加
 - ・ 年末パトロール
 - ・ 防災訓練
 - ・ 放置自転車撲滅運動
 - ・ 献血
 - ・ 地域消防隊
 - ・ 資源回収
 - ・ 人道支援募金
- (3) 式場見学会・事前相談会・人形供養祭
- (4) 街ゼミ・終活セミナー

3 対応結果

期間を通じて、地域住民、行政、顧客、取引先などから苦情・要望などの連絡・通報を受けておりません。



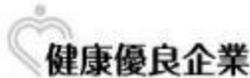
多摩中央葬祭株式会社は、立川市・国分寺市・国立市・府中市に密着した葬儀社です。心温かなご葬儀に努めるほか、地域社会や環境に配慮した企業活動を行っております。



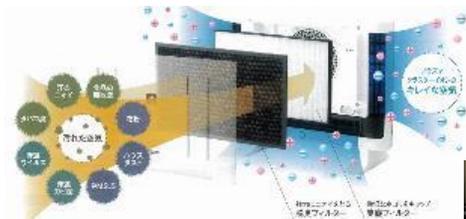
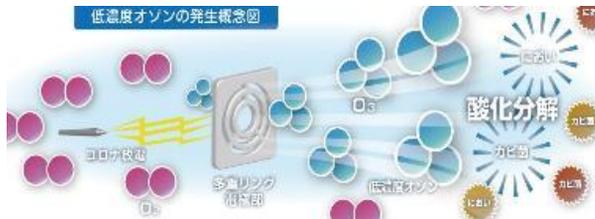
立川市・国分寺市・国立市・府中市に密着し、周辺のエリアにおいても生活保護受給者に対する葬祭扶助制度に協力しています。



健康企業宣言を行い、「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）」に認定されています。健康経営とは企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践することです。



感染症等予防のため、各ホールに空気清浄機「光触媒・除菌・脱臭機(BLUEEZE)」及び「低濃度オゾン除菌・消臭装置 (AirSuccess)」を設置しています。



喫煙室 プラズマクラスター搭載空間清浄機 クリア空感にて、「脱臭」「集塵」「浄化」します。



健康経営への取組（食の改善）

「OFFICE DE YASAI」を導入し、無添加や減塩、コンビニ食を減らすなど従業員の食生活の改善に向けた普及啓発等の取り組みを継続的に行っています。



4 質の高い教育を
みんなに



シルバーライフカウンセラーを配置して、FP・法務・税務・介護・葬儀に関する講座を開講し、地域の皆様への信頼あるライフエンディングステージのサポートを行っています。
YouTube 多摩おそうぎch から情報発信しております。



葬祭ディレクター、全葬連葬儀事前相談員、遺体感染管理士などの資格取得の社内研修及び助成制度を採用するとともに部外講師を招へいして、社員研修を実施しています。



定期的な終活セミナー、街ゼミを開催し地域の皆様へ 充実した人生を送るための情報を発信しています。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



妊娠、出産、育児、介護に関する休業制度を男女に拘わらず積極的に導入しています。（両立支援等助成金を活用し、優秀な人材を確保・定着させる体勢を目指しています。）

6 安全な水とトイレ
を世界中に



エコアクション21では、環境負荷（二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量など）を把握し、必要な環境への取組（二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善など）を適切に実施することが求められています。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



壁面緑化の断熱保温効果により電力消費量削減、ヒートアイランド現象の緩和への取り組みを行っています。
 社内の照明はLED電球を使用し、クールビズ・ウォームビズを励行するなど積極的な節電に取り組んでいます。
 ダイドードリンコ株式会社の「LOVE the EARTHベンダー」を設置して、自販機の年間消費電力量に相当する再エネ指定の非化石証書の代理購入によりCO₂の排出量を実質ゼロにすることに貢献、自販機の稼働時のCO₂排出量を実質ゼロ（ネットゼロカーボン）とすることができ、環境に配慮したサステナブルな未来を創ることに協力しています。



8 働きがいも
経済成長も



就業の偏りによる労働環境の悪化を防止するべく、PDCAサイクルにより効果的な業務改善を継続的に実施しております。
 従業員のモチベーションアップやキャリアアップ支援に取り組み、企業・顧客・消費者・従業員、すべてのWin-Winを目指しております。

- ・職業能力開発促進法第12条 職業能力開発推進者選任事業所
- ・キャリア形成促進助成金制度導入認定事業所
- ・キャリアアップ助成金(人材育成)有期実習型訓練実施事業所
- ・感染症対応力向上プロジェクト コースⅡ達成事業所
- ・東京働き方改革宣言 事業所



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



自治体との協定等、コミュニケーション・連携を積極的に行うことによりイノベーションへの貢献を探求します。



10 人や国の不平等
をなくそう



地域の様々なイベントに協賛・参加・協力することで、誰もがイベントに参加できる環境を目指しています。



11 住み続けられる
まちづくりを



地域社会に密着し、地域行事の興隆を支援することによって地域社会に貢献し、企業としての成長を図ります。



献血への協力



年末パトロールへの参加



防災備蓄倉庫の確認



地域消防隊の
消火ポンプ説明会



放置自転車撲滅
キャンペーンへの参加



東京臨海広域防災公園
見学会



減災講演会



人道支援募金への参加

12 つくる責任
つかう責任



資源回収活動へ参加

資源としてリサイクルできるものの再資源化に協力し、限りある資源を限りない工夫と努力で再利用できるように協力しています。分ければ資源、混ぜればゴミ。



CO2排出量抑制のため ①ドライアイスを低減の取組を行っています。
②ペーパーレス化のため、iPadを用いLINEWORKSによる情報共有を実施しています。



安置室内の温度上昇を抑え、セレモアイスで過度な冷却を抑えます。



海洋プラチックで作られたボールペンを
使用することで、海の環境を整えます。



葬祭サービスの中で、環境に配慮し、物質使用量の削減に努めています。

環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、
環境コミュニケーションを通じて公表しています。



「全葬連葬祭サービス安心度調査2023」で、
最高ランクのAAAの評価をいただきました。

「全葬連葬祭サービスガイドライン」を遵守して、弊社では社内
コンプライアンスを明文化し、全社員で遵守に取り組んでおります。



「エコアクション21」
PDCAサイクルを備えた環境マネジメントシステムを構築し、
環境経営の実効性を高めていくとともに、企業における従業員の
教育を促すことで、事業活動における更なる環境配慮を促進して、
持続可能な生産と消費を実現するクリーンな経済システムを構築することを
目標として地域に根差し、企業・顧客・消費者・従業員の幸福を追求します。

